



御降誕おめでとうございます

つづい

638号

2021/12/24

〒204
0022

清瀬市松山一丁目二

カトリック清瀬教会

TEL 〇四二(四九一)〇一〇四

知人が訪ねてきてくれることになりました。私が前にいた教会の信者さんです。「一度は、清瀬教会に行ってみよう」とおっしゃっていたので、「いつでも来てください。」と言っ

カトリック清瀬教会はどこですか？

西川 哲彌 神父

ていました。久しぶりなので、顔も多少変わっているかと楽しみにして、約束の日、教会で待っていました。

西武池袋線に乗って清瀬で降りる。南口に出て、いろいろお店や食堂が並んでいる方に商店街があるから、その商店街をまっすぐに十分ぐらい歩いて、突き当たったら左に

曲がって二分ほど歩くと、左に教会があります。そのように電話で言うておきました。三十分くらいたってもつかないの、携帯に電話を入れました。「どうしたの、どこで何をしてるの。買い物なんかしないでもいいから、とりあえず、教会にいらつしやいよ。」と言いましたら、意外な言葉が返

て、二、三の店で聞いても、『知りませんか、わかりません』という返事なので、慌てているところなんです。」という返事でした。
「ある店で、線路沿いに歩いて行くと、教会がありますよと言われ、行ってみたら、カトリックではなかったのだから、駅前に戻ったところですよ。」そこまで聞いたところとしておれないので、「今すぐ、自転車で駅まで行くから、じっとしててください」と言って、五分後、駅前で疲れた顔の知人を見つけ、自転車を押して二人で教会にたどり着きました。

ちよつと確かめようと思ったのが運の尽きだったので。いつもは、「商店街をまっすぐに歩いて突き当たりを左」で着いていますからご安心ください。清瀬の教会は、駅前から今の教会までが、松を中心とした雑木林の頃、マリア会

（暁星学園を経営しているフランス人の男子修道会）が七十年以上も前に買い取って牧場を作り、牛乳でバターやチーズを作っていた土地のほんの一部を買い取って始められた歴史があるのです。教会の歴史を自慢しても仕方がありません。駅前で、「カトリック清瀬教会はどこですか」ときかれても知らない方が多いのは無理からぬことなのです。そのカトリック清瀬教会へいらつしやる方がいます。もちろん、清瀬教会の信者さんです。しかし、昨年来、コロナウイルスの感染を避けるため、高齢の方、既往症を持つておられる方、現在、体調を崩されておられる方は、自宅でお祈りくださいと、司教様の温かい言葉で教会へ行くことを遠慮している方がたくさんおられました。しかし、十一月から、通常のミサが開始され、聖堂が久しぶりに定

員を超すほどになりました。元に戻りつつあります。カトリック教会は、幼児洗礼を認め、むしろ勧めていいますので、家族全員が信者というケースが少なからずあります。大きくなって自分で受洗を選ばせるといふ家族もあります。大きくなって、自分で受洗を希望し勉強をする人は、とても少ないのが現実です。そのほかに、清瀬教会にいらつしやる方がいます。その方々は、求道者の方です。求道者という言葉は固い印象を与えてしまいがちですが、いらつしやる方の気持ちは、まさに、道を求めて教会の戸を叩いた方です。求道者と呼ぶにふさわしい方です。というのは、長崎や函館のように、観光地化されたところなら、気軽に入って、聖堂の中を見学したり、置いてあるパンフレットを頂いたりしても問題ありません。しかし、なんで

もない時、教会（聖堂）に入ってお祈りするのには、かなりの勇気が必要です。つまり、教会というところは、「敷居が高い」ところなのです。その教会に、飛び込んで、「教会に入るためにはどうすればいいのでしょうか。」と受付の方が司祭に聞くというのは、相当の勇気と決意が必要だったと、求道者の方が口を揃えておっしゃいます。カトリック教会は、教会に来て、ミサにでたり、行事に参加して手伝ったり、趣味のグループに入れてもらってお友達になっても、すぐに洗礼というわけには行きません。入門講座を受けて、信者として不都合がないように準備をしていただきます。いろんな特例があるので、簡単に洗礼を受けられるように思われたら、それは間違いです。入門講座は、約一年、回数にすれば三十回くらいの講義を受け

なければなりません。それは、入門のためであって、そこからさらに勉強が続くのです。教会によっても違いがありますが、何人かのグループで講座をやっている場合もあれば、個人レッスンのようにマンツーマンでやっている場合もあります。きちんと勉強していないと、信仰が続かないこともあります。さて、誰が入門講座を担当するかが難しい課題になります。司祭や助祭はそれなりの訓練を受けていますので即戦力にはなりますが、負担が大きくなります。そのため立ち上げられたのが、教区の「カテキスタ（入門講座を担当できる人）養成講座」です。始まってまだ数年で、各小教区に派遣できる人数に達していませんが、人数が揃ってくると、教区の力になるでしょう。私たちの清

瀬教会にも、受洗を希望する求道者が何人かおられます。今のところ司祭が対応しています。

さて、何人かの求道者に会って勉強を続けていくうちに、気付かされることがあります。それは、教会の存在です。教会が発している招きの力です。自画自賛になってはいけません。が、教会の吸引力は偉大です。「教会に行けば、何か教えてもらえる。」「教会に行けば、本当の生き方のヒントを授けてもらえる。」「これらは、決してご利益ではありません。キリスト教的に言えば、「父である神が泉のようにもたらす恵み」なのです。

「教会は、灯台みたいですよ。昼間はどこにあるかよくわかりません、しかし、暗くなると、そのありかがすぐにわかります」と、求道者の方が、おっしゃっていました。灯台として、一九三六年（昭和十

一年）以来、八五年間（注）清瀬教会が、この地にあつて、灯火を灯し続けてきたことは、そのまま、父なる神のみわざであつたと言っても過言ではありません。

教会は、イエス様が、十二人の弟子達を召し出してお始めになった人の集まりから始まっています。この「人の集まり」から始まった教会が広がって今の教会になりました。「二人三人、私の名によって集まるところに、私もいる」とおっしゃってくださいました。教会には、イエス様の火が灯っています。火を灯し続けて行きましよう。

（注）一九三六年に現在の秋津教会の地に「清瀬教会」ができ、一九五八年に現在の清瀬教会の地に「清瀬教会」が建設され、それまでの「清瀬教会」は「秋津教会」となりました。

今年の復活祭四月三日・四日は、コロナ禍のため、また、主任司祭の西川神父様が膝の手術で入院中のため、猪熊太郎神父様が、復活徹夜祭、日中のミサの司式をしてくださいました。



お名前 おおとみ 恵麻
霊名 マリア・ベルナデッタ
地区 四地区

お名前 おおとみ あんな
大富 杏奈

霊名 マリア・アンナ
地区 四地区

お名前 さとう
佐藤 みち

霊名 セバスチャン
地区 三地区

お名前 くろずみ あやこ
黒住 亜矢子

霊名 テレジア
地区 四地区

お名前 のだ かずひさ
野田 一久

霊名 セバスチャン
地区 四地区

パウロ伊藤 希海

(臨終洗礼)

ペトロ加藤 誠一

(臨終洗礼)

(以上敬称略)

七五三のお祝い



令和三年十一月十四日(日)
十時のミサの中で七五三の祝
福式が行われました。立冬も
過ぎたというのにとっても暖か
い日でした。

これからの教会を担う子ど
も達です。この子ども達の成
長をお祈りください。



(お名前)

マリア 佐藤 さら (四歳)

ヨセフ 湯田 悠利 (六歳)

ヨセフ ラビ・ステフェン

(五歳)

三宅 一穂 (三歳)

(以上敬称略)

ご結婚おめでとうございます

令和三年十二月四日(土)

結婚式が執り行われました。



新郎

氏名 尾下トリストンミノル

新婦

氏名 高橋 美貴

(敬称略)

♥ お幸せに ♥

西村英樹神父様の
初ミサ



令和三年十二月五日（日）
十時のミサで、西村英樹神父様が清瀬教会で初ミサを捧げられました。西村神父様は、清瀬教会でハクシヤ神父様から洗礼を受けられました。
ご説教の中では、侍者を務める様になられてからの仲間達とのエピソードを楽しく思い出しながらお話してください

ました。

また、ご自身が辛い時にはいつも十字架を仰ぎ見る事で救われたこと。主が私に与えてくださったのはまっすぐな道であったが、しかし、自分気がつかず、紆余曲折を経て、今、司祭職の恵みに与ることができたこと。

最後に、これからは本当に重要な事を見極める事が出来るように歩んで行きたいし、イエス様が与えてくださった司祭職を全うして行きたい、とおっしゃってました。



信徒動向

《転入》

マルタ猪口 とも枝（二地区）

マリア・エリザベト

田中 康子（九地区）

ペトロ金原 嘉之（八地区）

テレジア

牧山 シマコ（九地区）

マリア・マグダレナ

佐々木 みち子（二地区）

マリア・テレジア

稲岡 洋子（七地区）

《転出》

ライレン土田 圭子

（東京教区北町教会へ）

リマのローザ上原 沙織

（東京教区豊四季教会へ）

《帰天》

ヘレナ五味 喜美子（八五歳）

ヨゼフ藤田 保夫（九六歳）

チエチリア菅井 博子（八三歳）

ヨハネ・クリズストモ 古屋 偉士（六六歳）

マリア・カタリナ

中山 薫子（九六歳）

ペトロ塚本 健吉

（八二歳）

パウロ伊藤 希海

（十三歳）

マリア廣垣 操（八八歳）

ペトロ加藤 誠一

（六八歳）

クララ小木曾 久子

（八六歳）

モニカ川里 芳枝

（九二歳）

（以上敬称略）

